

熱帯寄生虫学分野

論文

A 欧文

A-a

1. Oljuskin T, Azodi N, Volpedo G, Bhattacharya P, Markle HL, Hamano S, Matlashewski G, Satoskar AR, Gannavaram S, Nakhasi HL: Leishmania major centrin knock-out parasites reprogram tryptophan metabolism to induce a pro-inflammatory response. *iScience* 26(9): 107593,2023. doi: 10.1016/j.isci.2023.107593. (IF: 5.8)
2. Volpedo G, Pacheco-Fernandez T, Oljuskin T, Markle HL, Azodi N, Hamano S, Matlashewski G, Gannavaram S, Nakhasi HL, Satoskar AR: Leishmania mexicana centrin knockout parasites promote M1-polarizing metabolic changes. *iScience* 26(9): 107594,2023. doi: 10.1016/j.isci.2023.107594. (IF: 5.8)
3. Takeuchi T, Nakamura R, Hamasaki M, Oyama M, Hamano S, Hatanaka T: In vitro evaluation of the effect of galectins on Schistosoma mansoni motility. *BMC Res Notes* 16(1): 266,2023. doi: 10.1186/s13104-023-06530-9. (IF: 0.527)
4. Dey R, Alshaweesh J, Singh KP, Lypaczewski P, Karmakar S, Klenow L, Paulini K, Kaviraj S, Kamhawi S, Valenzuela JG, Singh S, Hamano S, Satoskar AR, Gannavaram S, Nakhasi HL, Matlashewski G: Production of leishmanin skin test antigen from Leishmania donovani for future reintroduction in the field. *Nat Commun* 14(1): 7028,2023. doi: 10.1038/s41467-023-42732-2. (IF: 16.6)
5. Tayama Y, Mizukami S, Toume K, Komatsu K, Yanagi T, Nara T, Tieu P, Huy NT, Hamano S, Hirayama K: Anti-Trypanosoma cruzi activity of Coptis rhizome extract and its constituents. *Trop Med Health* 51(1): 12,2023. doi: 10.1186/s41182-023-00502-2. (IF: 0.912)

A-b

1. Mi-Ichi F, Hamano S, Yoshida H : Links between cholesteryl sulfate-dependent and -independent processes in the morphological and physiological changes of Entamoeba encystation.. *Parasitol Int* : 2023. doi: 10.1016/j.parint.2023.102844.. (IF: 2.106)

学会発表数

A-a	A-b		B-a	B-b	
	シンポジウム	学会		シンポジウム	学会
1	0	4	0	1	20

社会活動

氏名・職	委員会等名	関係機関名
濱野真二郎・教授	理事・評議員	日本熱帯医学会
濱野真二郎・教授	理事・評議員	日本寄生虫学会
濱野真二郎・教授	大分大学グローバル感染症研究センター共同研究委員会外部委員	大分大学
濱野真二郎・教授	富山大学和漢医薬学総合研究所運営協議会委員	富山大学

競争的研究資金獲得状況（共同研究を含む）

氏名・職	資金提供元/共同研究先	代表・分担	研究題目
濱野真二郎・教授	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構	分担	脂質代謝経路の酵素を標的とした阻害剤の探索
濱野真二郎・教授	Global Health Innovative Technology Fund	分担	Live attenuated prophylactic vaccine for leishmaniasis リーシュマニア症に対する予防弱毒生ワクチンの研究開発
濱野真二郎・教授	Global Health Innovative Technology Fund	分担	Production, validation and use of leishmanin skin test for detection of Leishmania exposure and immunity リーシュマニア曝露と免疫応答検出へ向けたリーシュマニン皮内テスト試薬の製造、検証および実用化

濱野真二郎・教授	Global Health Innovative Technology Fund	分担	Optimization and pre-clinical development of a Trypanosoma cruzi Cyp19 knock-out strain as a live vaccine for Chagas disease シャーガス病のためのクルーズトリパノソーマCyp19欠損弱毒生ワクチンの最適化と前臨床開発
濱野真二郎・教授	Global Health Innovative Technology Fund ※UERMMC、FIND（代表）	分担	GHIT6 A schistosomiasis rapid diagnostic test to support control programmes in monitoring treatment impact and reassessment mapping. 治療効果モニタリングと再評価マッピングを通して住血吸虫症コントロールプログラムを支援するための迅速診断テストの研究開発
濱野真二郎・教授	日本学術振興会	代表	基盤研究（A） 繰り越し2年目 ヴィクトリア湖湖畔における住血吸虫伝搬ダイナミクスと環境モニタリング
濱野真二郎・教授	日本学術振興会	代表	基盤研究（A） 住血吸虫症の感染伝播ダイナミクスの解明～グローバルな感染コントロールを目指して
濱野真二郎・教授	日本学術振興会	分担	挑戦的研究（萌芽） 住血吸虫症の克服に向けて-中間宿主の自然免疫機構をゲノム編集で解明
濱野真二郎・教授	日本医療研究開発機構（AMED）	代表	SATREPS 住血吸虫症の制圧・排除へ向けた統合的研究開発
濱野真二郎・教授	日本医療研究開発機構（AMED）	分担	リピドミクスのメタデータに基づく赤痢アメーバ脂質代謝解析— 赤痢アメーバの生化学・生理学と創薬標的・リード化合物の提供—
濱野真二郎・教授	日本医療研究開発機構（AMED）	分担	SCARDA 研究開発課題名：ワクチン開発のための世界トップレベル研究開発拠点群長崎シンナジーキャンパス（出島特区）
中村梨沙・助教	日本学術振興会	代表	研究活動スタート支援 住血吸虫の成長・産卵を促すinitiation factorの探索と機序の解明
中村梨沙・助教	日本学術振興会	分担	国際共同研究強化（B） 抗体を利用する、新しい結核の診断法と制御法の開発を目指した、国際共同研究
中村梨沙・助教	日本学術振興会	代表	基盤研究（C） 住血吸虫の宿主自然免疫ハイジャックによる寄生適応戦略の解明
濱野真二郎・教授	中部大学		ヒト住血吸虫に対する中間宿主巻貝の感染体制の理解に向けてに関する共同研究
濱野真二郎・教授	九州大学生体防御医学研究所ゲノミクス分野		抗毒素生産動物からの高精度レパトア情報取得システムの開発に関する共同研究
濱野真二郎・教授	帯広畜産大学原虫病研究センター		日本住血吸虫組換え体抗原のビルハルツ住血症血清診断での性能評価に関する共同研究
濱野真二郎・教授	奈良県立医科大学		透明化技術を用いた住血吸虫感染貝の解析
濱野真二郎・教授	新潟大学医学部		結核の臨床現場即時検査（POCT）開発を目指した、ケニアにおける試験検討

濱野真二郎・教授	オハイオ州立大学・マギル大学・米国食品医薬品局 (FDA) ・ NIH・Gennova Biopharmaceuticals	リーシュマニア症に対する予防弱毒生ワクチンの研究開発
濱野真二郎・教授	オハイオ州立大学・マギル大学・米国食品医薬品局 (FDA) ・ NIH・Gennova Biopharmaceuticals	リーシュマニア曝露と免疫応答検出へ向けたリーシュマニン皮内テスト試薬の製造、検証および実用化
濱野真二郎・教授	オハイオ州立大学・Center for Infectious Disease Research (CIDR)-Ecuador	リーシュマニア曝露と免疫応答検出へ向けたリーシュマニン皮内テスト試薬の製造、検証および実用化
濱野真二郎・教授	Foundation for Innovative New Diagnostics (FIND)・Leiden University Medical Center (LUMC)・Merck KGaA	治療効果モニタリングと再評価マッピングを通して住血吸虫症コントロールプログラムを支援するための迅速診断テストの研究開発
濱野真二郎・教授	テルモ株式会社	リーシュマニアワクチンの皮内投与デバイスの影響に関する研究
濱野真二郎・教授	島津製作所	住血吸虫症の制圧・排除へ向けた統合的研究開発
濱野真二郎・教授	AdvanSentinel	住血吸虫症の制圧・排除へ向けた統合的研究開発

その他

非常勤講師

氏名・職	職 (担当科目)	関係機関名
濱野真二郎・教授	非常勤講師 (ウイルス医動物学)	山口大学大学院医学系研究科
濱野真二郎・教授	非常勤講師 (寄生虫学)	九州大学医学部
濱野真二郎・教授	非常勤講師 (病原体学)	岐阜大学医学部
濱野真二郎・教授	非常勤講師 (医療と社会)	熊本大学医学部
濱野真二郎・教授	非常勤講師 (病原体・感染防御医学講座)	奈良県立医科大学